



雨水の候



主任
家庭支援専門相談員
森田 佳代

拝啓

雨水の候 皆様におかれましてはいっそうご繁栄のことと拝察いたします。

「雨水」の日はひな人形を飾るのによい日とされてきました。この日に飾ると良縁に恵まれるといわれています。子どもたちがすこやかに育ち、幸せになってほしいという願いがこめられ、今年も若草園のホールに飾られています。

思えば私も30年近く養護施設で過ごしてまいりました。平成20年に新園舎が完成し、家庭的養育を目指して実践してきたこの年月は、それまで私たちが経験できなかったことや成し得なかったこと、見られなかった姿をかぞえきれないほど見ることができました。もちろん毎日良いことばかりではありませんでした。大切に建てられた家も、何度あちこちが壊れたかわかりません。大事にしてきたお皿もグラスも、いくつ欠けたかわかりません。心を痛める日々も続きました。しかし、お互いが違いを認め合い助け合ってきた生活は思っていた以上の効果が見られたのも事実であります。

人の生活は、大人が子どもにこうであれと示す一方的な働きかけではなく、ともに心を開いて生活する場所として、互いの思いや考えを聞き、尊重していかなければならないと改めて思い知らされます。

私たちのこの生活は私たちなりに出した唯一の「結論」としてではなく、模索しつつ「現在進行形」のひとつの生活スタイルとしての暮らしです。

これからも多くの方々とともに、よりよい実践を探しつつ、「未来に向けての今」を過ごしていきたいと思います。

水仙が優雅に咲く時節、どうぞ幸多き充実した春をお迎えください。

敬具

児童家庭支援センター わかくさ

子どもや家庭のことに
関する相談を受け
付けています。誰かに
話を聞いてほしい…
という方など、お気軽
にご相談下さい。

☎ 0880-31-0311



好きなご飯を食べて
いって下さいね～。

ガーデンパーティー R6.11.2

地域の方々に若草園を知ってもらおう、日頃からお世話になっている方たちに楽しんでもらおう、と平成16年から開催しているガーデンパーティー。令和2年から中止となっていました、6年ぶりに開催することができました。当日はあいにくの雨…というよりも嵐のような雨風の中でハプニングもありましたが、無事に開催することができました。ご来場くださいましたみなさま、余興に参加して下さいましたみなさま、ありがとうございました。



幡多ちんどんクラブさんと、飛び入り参加の子どもたちが会場を盛り上げてくれました。

お琴の演奏もありました。

まど 若草園の様子



普段は別々のホームで生活していますが、会々と楽しそうに集まっている中高生。そんな姿を見ると嬉しくなります。



中村ロータリークラブさんとのお餅つき



今年卒園するNさんと園長との
息の合った餅つきでした！



中村ロータリークラブの方が盛り上げて下さり、初めは恥ずかしそうにしていた子どもたちもいさ杵をもつと力いっぱい振り上げて餅つきを楽しんでいました。なによりロータリークラブの皆さんが本当に楽しそうに餅つきをされていて、そんな本気で楽しむ大人の姿を間近で見られるというのもいいものだな～と感じたことでした。

ありがとうございました。

焚火を楽しむ小学生



大谷泰吾&旅行気分さんと
高校生のコラボライブ。
生バンドで歌う姿は、より
カッコいい!!



雨天を予想し、庭にテントを張って鉄板を準備していましたが、あまりの雨風に火がつかず、急遽ガスコンロを使っての焼きそばづくりにになりました。



クリスマス 祝会



今年もホールに集まって皆でお祝いしました。



表彰式



頑張ったね!

クリスマスの朝

いつもより早起きの子どもたち。ツリーのそばにはサンタさんからのプレゼント。そして今年もデラさんからプレゼントをいただきました。



これは誰の？
どれからあけようか！
嬉しい楽しい瞬間です。



高知県児童養護施設協議会 児童絵画展へ出品していた小学生4名が、それぞれ審査員奨励賞・会長賞を受賞し、表彰されました。その中から1君の作品は全国へ選出されました。

銀賞受賞



全国児童養護施設協議会
児童文化奨励絵画展で
銀賞を受賞しました！



お祭りワッショイ
若草園
小4 K、I さん

お祭りワッショイ！

サッカーチームのみんなと市民祭でちようちん台をかついだ絵です。工夫したところはちようちん台が動いて見えるように大きさをかえたり、明るさを調整したりしたことです。絵の具とクレパスを使ってはだの色を人それぞれ変えるのががんばりました。まさか銀賞をとれると思っていなかったのですが、びっくりでした。うれしかったです。次は金賞を目指したいです。

源平合戦



毎年恒例百人一首の源平合戦！今年の勝者は平家でした。写真は自由参加での個人戦の熱戦の模様です。

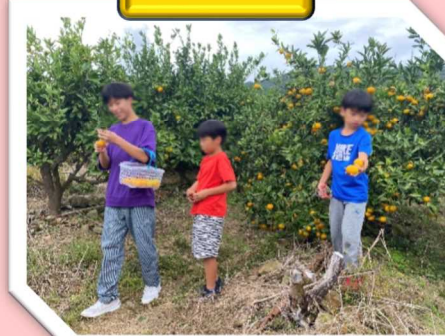
ぜんざいも



この写真は21年前の源平合戦の様子です。懐かしい和室にて伊豆先生と。今も変わらず続いています。



みかん狩り



陶芸体験



リース作り



ホーム旅行



香川県にある高屋神社～天空の鳥居～に初詣。予定では車で登るはずが、土日のため自力で山に登ることに…それでも子ども達が「登る！」と片道1時間半かけて登りました。愛媛県で砥部焼の絵付け体験や、道後温泉も楽しみました。



令和6年度上期 ご寄付

(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

みなさまに心から感謝申し上げます。 <50 音順・敬省略>

* 寄付物品

高知市教職員組合 (図書カード)

沢良木 (おもちゃ・子ども服)

ダスカ&デシレー (チョコレート)

田辺恵美子 (お米)

匿名① (お米・玉子券・図書カード・QUOカード)

匿名② 2 回 (駄菓子詰合せ)

匿名③ (新生児用オムツ)

久松長男 (ぶり)

細川秀信 2 回 (猪肉・玉ねぎ・じゃがいも)

渡辺農園 渡辺一朗 (小夏)

→以上 12 口 10 人 時価総額 69,380 円

* 寄付金

片岡聖信

河内屋商店

谷脇睦夫

土曜 ROCK の会

林博

宮部水秋

宮本佳彦

三好琴喜

→以上 8 口 182,702 円



ありがとう
ございました!



この年末年始にもたくさん
さんの寄付をいただきました。
ありがとうございます。
令和6年度下期のご
寄付は次号にて紹介
させていただきたい
と思います。



*ボランティア
CHELSEA (チェルシー)

おいらせ



「竹島出身の保育の父・佐竹音次郎の新しい伝記が発刊されました。講読を希望される方は若草園内音次郎会事務局へお問い合わせください。せと



若草園の年末年始

年末年始、久しぶりに家族や親戚

と過ごした子ども、ホームでいつもより少人数で過ごした子ども、里親さんや職員の実家で過ごした子ども、それぞれの年越しがありました。そんな中、卒園生も顔を見せにきてくれていました。卒園して初めて迎える年末年始を、もと居たホームで子どもたちと一緒に過ごした人、帰省したついでに園に寄ってくれる人、卒園後も職員の家に帰省していた人などさまざまですが、その中でいつも歯ブラシを寄付してくれる歯科衛生士の卒園生がいます。卒園してから数年が経つので、今在園している子どもたちのほとんどと顔も名前もお互いに知らないという関係ですが、その卒園生がくれる歯ブラシが磨きやすくお気に入りだと教えてくれた男の子がいます。若草園の歴史の中で、たくさんの子どもの生活があって、今の子どもたちにつながっている。嬉しかったこと、辛かったこと、悲しかったこと、もっとこうして欲しかったこと…たくさん

さんの想いがあって、今の社会的養護がある。その歯ブラシの話を聞いて、子どもたちの顔がいくつも思い起こされました。



編集後記

若草園は開設当初よりイエス・キリストの愛の精神を掲げており、今も月に 2 回子ども礼拝と職員礼拝があって中村栄光教会の牧師さんが説教して下さいます。その中に「豊かな人生」というテーマのお勧めがあったのでご紹介したいと思います。

「豊かな人生」とはどのような人生でしょうか。健康・お金・友人・教養・知恵に恵まれた人生。確かにそういうものがあるのですが、真の豊かな人生とは苦しみや悲しみを経験し、挫折や失敗を経験する、そういったマイナスに思えることをも含んだ人生であって、満たされた時もそれを宝とし、苦しみの時にもそれを宝とする人生が真の豊かな人生です。良いことも辛いことも宝とするということ、それはその経験によって生き方を学ぶということ、そしてだれかを励ます光となること。辛い経験を通して優しさや思いやりが育ち、傷ついた経験が誰かの慰めとなる。ベトナムに最上級の香がとれる「伽羅」というのがあり、それは木が動物などに傷つけられた傷跡、かさぶたなのだそうです。木は傷つくと樹脂を分泌し、傷口をふさぐ。その樹脂が香木のもとになる。その樹脂は木が枯れて朽木となっても土にかえらずに残り、長い時をかけて不純物がバクテリアによって分解されて「伽羅」ができるのだそうです。痛々しい傷を宝に変え、すばらしい香りを放つ。人生の傷を、人を癒し生きる力を与える宝に変える。これこそが豊かな人生でありましょう。

これからの人生の中で
何度も振り返ってみたいと思った説教でした。 たなか

